

目次

刊行にあたって

凡例

歴史編

第一章 村の生い立ち

第一節 村のあけぼの

- 一 南箕輪のあけぼの……………一
- (一) 生活の舞台としての南箕輪……………一
- (二) 先土器(無土器)時代の南箕輪……………二
 - 1 南箕輪における人間生活の始まり……………二
 - 2 先土器・旧石器時代の編年……………三
 - 3 神子柴遺跡の性格……………三
- (三) 縄文文化時代の南箕輪……………六
 - 1 南箕輪における縄文時代遺跡の分布……………六
 - 2 縄文時代の生活……………七
- (四) 弥生文化時代の南箕輪……………五
 - 1 弥生文化の波及と遺跡の分布……………五
 - 2 弥生文化時代の生活……………八
- 第二節 村の古代……………六
 - 一 古墳文化時代……………六
 - (一) 古墳文化時代とは……………六
 - 二 郷土における古墳文化時代の遺跡……………七
 - (一) 諏訪の「くに」の中の南箕輪……………七
 - (二) 農耕生産の発展……………三
 - (三) 古墳時代の住生活と家族……………三
 - (四) 畿内勢力の侵透……………三
 - (五) 大和政権の地方支配……………三
- 二 律令制時代……………四
 - (一) 律令体制の成立……………四
 - 1 国の成立と国司……………四
 - 2 郡と郡司……………四
 - 3 里・郷……………四
 - 4 伊那郡と諏訪郡の郡境……………四
 - (二) 班田收授体制……………四
 - (三) 租(たちから)……………四
 - (四) 調(みつき)……………四
 - (五) 庸(ちからしろ)……………四
 - (六) 雑徭……………四
 - (七) 其の他の負担……………四
- (八) 農村の生活……………四
- (九) 交通制度の発達(東山道)……………四
- 三 荘園制の成立発展と武士の発生……………四
 - (一) 律令制の変容……………四
 - (二) 荘園の成立と発展……………四
 - 1 荘園制の概要……………四
 - 2 郷土における荘園……………四

(三) 莊園制下の農村の姿……………	五九
1 莊園内耕地の構成と経営形態……………	五九
2 農民の負担……………	五九
3 農耕技術……………	五九
(四) 武士の発生……………	六〇
1 概 説……………	六〇
2 郷土における武士の発生……………	六二
第二章 村の中世……………	六三
第一節 武家政権の成立と伊那……………	六三
一 落原庄と我が郷土……………	六三
二 鎌倉時代の伊那……………	六四
(一) 治承・寿永の争乱と伊那……………	六四
(二) 伊那諸族の台頭……………	六六
1 伊那源氏の諸士……………	六六
2 神氏一統……………	六七
三 南北朝の争乱と伊那……………	六七
(一) 鎌倉幕府の滅亡……………	六七
(二) 北条時行と伊那……………	六八
1 中先代の乱……………	六八
2 大徳王寺城の戦い……………	六九
(三) 宗良親王と伊那……………	七〇
四 室町時代の伊那……………	七〇
(一) 信濃の守護と国人衆……………	七〇
1 守護小笠原氏と伊那……………	七〇
2 大塔合戦と伊那の諸氏……………	七二
(二) 結城合戦と伊那衆……………	七九
(三) 内乱の中の伊那の諸氏……………	八〇
1 守護小笠原氏の分立抗争……………	八〇
2 諏訪上下社の抗争……………	八一
3 戦乱時代のはじまり……………	八三
第二節 戦乱の時代……………	八四
一 武田氏の伊那経略……………	八四
(一) 武田氏の侵入……………	八四
(二) 武田氏の伊那統治……………	八七
二 織田氏の侵入……………	八九
三 南箕輪の城跡と豪族……………	九一
1 棚木城跡……………	九一
2 中込城跡……………	九二
3 倉田の城跡……………	九二
4 有賀の城跡……………	九四
5 清水城跡……………	九四
6 日戸氏の館跡……………	九四
7 古城跡……………	九四
8 内城跡……………	九五
9 宮島氏館跡……………	九六
10 大泉氏の館跡……………	九六
11 座籠城跡……………	九七
12 田中城跡……………	九八
第三節 中世の社会と生活……………	九八
一 集落の位置と大きさ……………	九八
二 農民(莊民)の負担……………	一〇〇
(一) 年 貢……………	一〇〇

- (一) 公事―年貢以外の雑税……………101
- (二) 夫 役……………102
- 三 物資の流通と銭貨……………103
 - (一) 流 通……………103
 - (二) 銭 貨……………103
 - (三) 土 倉……………104
- 四 農業技術の発達……………105
 - (一) 灌漑用水……………105
 - (二) 施肥の普及……………105
 - (三) 農具の普及……………106
 - (四) 稲作の進歩……………106
- 五 衣食住生活……………107
 - (一) 衣 料……………107
 - (二) 食 事……………107
 - (三) 住 居……………107
 - (四) 年中行事……………107
- 六 社会風潮と生活……………107
 - (一) 武 士……………107
 - (二) 農 民……………107
 - (三) 風 俗……………107
- 第四節 交 通……………108
 - 一 京都への道……………108
 - 二 鎌倉への道……………111
- 第五節 中世の文化……………111
 - 一 諏訪信仰……………111
 - (一) 諏訪信仰圏内の南箕輪……………113

- (一) 南箕輪の諏訪社……………114
- (二) 地名の由来……………115
- (三) 御射山神社……………116
 - 1 御射山社再興の訴え(碑)……………116
 - 2 『西箕輪村誌』の御射山大社跡……………117
 - 3 別当寺(普光寺)……………118
 - 4 分祀された御射山社……………118
 - 5 御射山祭の推移……………119
 - 6 御頭祭への招待状……………120
 - 7 湛 神 事……………123
 - 8 大泉の鹿祭り……………127
- 二 八幡信仰……………130
- 三 熊野信仰・津島信仰……………131
 - (一) 熊野信仰……………131
 - (二) 津島信仰……………131
- 四 口碑による中世の古跡……………131
 - 1 天皇(陵墓)……………131
 - 2 郷土が窪……………133
 - 3 猪の子芝……………134
 - 4 五輪塔……………134
 - 5 権理塚……………134
 - 6 経 塚……………135
- 第六節 中世から近世へ……………136
 - 一 近世への第一歩―武田支配……………136
 - 二 目まぐるしい支配者の交代……………137
 - (一) 信長支配(二か月)……………137
 - (二) 家康支配(普沼定利)……………137

(三) 真田支配(一年)……………	二二
(四) 秀吉支配(毛利・京極)……………	二二
(四) 再び家康支配……………	二二
三 「村」の時代へ……………	二二
第三章 村の近世……………	
第一節 村のなりたち……………	
一 村々(区)の概要……………	二二
二 村々の由来と推移……………	二二
(一) 久保村……………	二二
(二) 塩ノ井村……………	二三
(三) 大泉村……………	二三
(四) 北殿村……………	二四
(四) 南殿村……………	二四
(六) 田畑村……………	二五
(七) 神子柴村……………	二五
(八) 沢尻村……………	二六
(九) 南原区……………	二七
(三) 大芝区……………	二七
(二) 北原区……………	二七
(三) 中込区……………	二七
第二節 村の姿……………	
一 領主と村……………	二七
(一) 領主の交替……………	二七
1 田中城から木下陣屋へ(江戸時代前期)……………	二七
2 松島陣屋と飯島陣屋(江戸時代中期)……………	二八
3 飯島役所と松本役所(江戸時代後期)……………	二五
(二) 村の構成……………	二五
1 村方三役……………	二五
2 名主……………	二五
3 組頭・百姓代……………	二五
4 五人組……………	二五
(三) 村定めと御触書……………	二五
1 御触書……………	二五
2 五人組帳前書……………	二五
3 村定め……………	二五
4 近世の特色……………	二六
(四) 村の明細……………	二六
1 南殿村差出帳……………	二六
2 高札場……………	二六
3 村役人の給料……………	二六
4 郷藏……………	二六
5 農閑期の稼ぎ……………	二六
6 酒屋……………	二六
7 鉄砲……………	二六
8 入会山……………	二六
(五) 人別帳・宗門帳と戸口……………	二六
1 人別改帳……………	二七
2 宗門改帳……………	二七
3 江戸時代の南箕輪における戸口……………	二七
二 検地と年貢……………	
(一) 検地……………	二八
1 土地調査の歴史……………	二八

2	天正の検地(太閤検地)……………	二八
3	江戸時代の検地……………	二八
4	江戸時代の検地の方法……………	二八
5	検地と農民の対応……………	二九
(二)	貢租(農民の負担)……………	二九
1	農民負担の種類……………	二九
2	貢租の割り付け……………	二九
3	貢租の徴収……………	二九
4	各時代の貢租……………	三〇
5	箕輪領の安石代……………	三五
三	村人の生活……………	三八
(一)	近世の農業経営……………	三八
1	耕地……………	三八
2	農業経営の構造……………	三〇
(二)	近世の農業技術……………	三三
1	土地と用水……………	三三
2	作物の種類・品種……………	三三
3	育苗……………	三六
4	田植と畑作物の播種……………	三六
5	肥料……………	三九
6	管理と病虫害防除……………	三四
7	作物の収穫と収量……………	三四
8	畑作物の輪作体系……………	三四
(三)	近世の商工業と金融……………	三七
1	商工業活動……………	三七
2	近世における金融……………	三五
(四)	災害と飢饉……………	三三
1	災害の頻度……………	三三
2	災害(凶作と飢饉)の実態……………	三三
3	凶作・飢饉の対策……………	三六
第三節	道と往来……………	三三
一	伊那街道(三州街道)と宿……………	三三
(一)	街道の設立経過と道筋……………	三三
1	伊那街道……………	三三
2	春日街道……………	三七
(二)	大泉北殿合宿……………	三七
1	宿場の成立と形態……………	三七
2	宿役人……………	三八
3	人馬の継ぎ立て……………	三八
4	北殿村と大泉村伝馬役の紛争……………	三九
二	中馬……………	三九
(一)	概説……………	三九
(二)	伊那の中馬……………	三九
(三)	中馬紛争……………	三九
1	百姓馬の付け通し……………	三九
2	宿場の既得権……………	三九
3	中馬慣行の公許……………	三九
4	中馬制度の定着……………	三九
(四)	中馬の特質……………	三九
三	権兵衛街道と助郷……………	三九
(一)	権兵衛街道の開通……………	三九
(二)	助郷……………	三九
1	助郷制度……………	三九
2	助郷が課されてくる手順……………	三九

(一) 南箕輪地域各村の助郷	三〇三
1 大泉村の助郷の始まり	三〇三
2 神子柴村・久保村の助郷の始まり	三〇四
3 北殿村の助郷の始まり	三〇四
4 田畑村・南殿村の助郷の始まり	三〇五
(四) 助郷の苦しみ	三〇五
1 助郷の農作業への影響	三〇五
2 助郷の村負担の増加	三〇六
3 頻繁な助郷回数	三〇七
4 村々相互間の対立と訴訟	三〇八
5 助役不参加の厳しいとがめ	三〇八
6 助村と休村・休役延長の嘆願	三〇九
7 助郷の免除嘆願	三〇九
四 天竜川通船・渡し舟	三〇〇
(一) 通船の開始まで	三〇〇
1 最初の通船願い書	三〇〇
2 通船差し障り問題の解決	三〇二
3 通船の再願いと請書	三〇四
(二) 通船営業の仕様	三〇七
(三) その後の経営	三〇〇
(四) 橋と渡し舟	三〇三
1 橋について	三〇三
2 渡し舟について	三〇三
第四節 学芸と教育	三〇四
一 俳文学	三〇四
(一) 談林風時代の俳文学	三〇四
(二) 美濃派風時代の俳文学	三〇五

(一) 蕉風時代の俳文学	三〇七
二 和歌	三〇七
三 近世の教育	三〇五
(一) 寺子屋・私塾教育	三〇五
(二) 奉公人の教育	三〇九
(三) 若者制度	三〇〇
第四章 水と村の生活	三二一
第一節 水を求めて	三二一
一 水と村	三二一
二 西部地帯(台地)の水	三二一
(一) 大泉村の渇水状況	三二一
1 井戸	三二一
2 井堰	三二二
3 大泉川の締め切り	三二三
4 漏水	三二四
(二) 大泉の井堰	三二五
1 下井	三二五
2 上井	三二九
3 新井	三二七
4 大泉川水系の大水論	三二三
(三) 大泉の横井戸	三二四
1 村内横井戸の概況	三二四
2 大泉の横井戸	三二七
3 大泉の深井戸	三二七
(四) 沢尻と水	三二〇

1	沢尻の水不足……………	四〇二
2	田用水計画……………	四〇四
(五)	開拓地の求めた水……………	四〇五
三	段丘沿いの村々と水……………	四〇五
(一)	段丘ぞいの湧水……………	四〇五
(二)	水を求める紛争……………	四〇六
1	久保の飲用水……………	四〇六
2	北殿の天竜井……………	四〇七
3	分水にかかわる水論……………	四〇八
4	天竜川をはさんで……………	四〇〇
5	杓樋と横井戸……………	四〇二
四	遠くから求めた水……………	四〇三
(一)	西天竜道水路(前史)……………	四〇三
1	江戸時代の開発計画……………	四〇三
2	明治の開発計画……………	四〇六
3	西天竜誕生とその後……………	四〇六
(二)	伊那土地改良事業……………	四〇六
(三)	奈良井川引水計画……………	四〇三
(四)	伊那西部農業水利事業……………	四〇三
五	水 道……………	四〇三
(一)	簡易水道……………	四〇六
(二)	村営上水道……………	四〇六
1	村営水道事業の発足……………	四〇六
2	水源を求めて……………	四〇六
(三)	その他の水道……………	四〇六
1	滝洗簡易水道……………	四〇三
2	神子柴簡易水道……………	四〇三

3	南原水道……………	四〇四
4	西原・中野原水道……………	四〇四
5	沢尻の水道(伊那市営水道)……………	四〇四
(四)	上伊那広域水道計画……………	四〇四
第二節	水との闘い……………	四〇五
一	江戸時代における農民の水との闘い……………	四〇五
(一)	災害の実態……………	四〇五
(二)	川除け(洪水対策)……………	四〇九
1	築堤と水制工……………	四〇九
2	洪水時の対応……………	四〇九
3	川除け御普請とその負担……………	四〇五
4	普請の頻度……………	四〇〇
(三)	起き返り(水害地の復旧)……………	四〇一
(四)	洪水によって起こった争論……………	四〇三
二	明治以後における水との闘い……………	四〇六
(一)	災害の実態……………	四〇六
(二)	明治以後の洪水防止対策……………	四〇七
1	明治初期の実態と水防の考え方……………	四〇七
2	河川の管理区分と水防施設……………	四〇七
第五章	入会山野と村の生活……………	四〇八
第一節	近世農民の生活と入会地……………	四〇八
一	入会地の重要性……………	四〇八
二	入会の成立と入会権の確立……………	四〇八
三	南箕輪に関係ある入会山野……………	四〇八

四 入会山野の利用の定め……………	四九〇	第四節 入会山野の整理と秣野の分割……………	五一
(一) 山野草の刈り取り……………	四九一	一 入会秣野の初期の分割……………	五一
1 刈敷刈り……………	四九二	(一) 北原の分割……………	五一
2 朝草刈り……………	四九三	(二) 大芝原の分割……………	五三
3 秋の干草刈り……………	四九三	二 入会山野の整理……………	五五
4 葛葉取り……………	四九三	三 入会原野の後期の分割……………	五七
5 萱 山……………	四九三	(一) 共有原野分割に至る時代の大勢……………	五七
(二) 薪の採取と用材の利用……………	四九三	(二) 中野原の分割……………	五八
(三) 稼ぎとしての入会地利用の制限……………	四九四	(三) 北原・大芝原の分割……………	五九
(四) 入会地利用の模式図……………	四九五	(四) 三本木原・上ヶ溝原・牛馬飼場の分割……………	五三
第二節 入会地の争論……………	四九六	(五) 入会分割地の交換……………	五六
一 入会地争論の概要……………	四九六	第五節 森林の育成と部落有原野の村有化……………	五九
二 主要な入会地争論……………	四九六	一 森林の育成(林業の発展)……………	五九
(一) 真虫平の公事と裁許……………	四九六	(一) 森林の保護育成の重要性の認識……………	五九
(二) 北原秣場出入り……………	五〇〇	(二) 植林の励行……………	五九
(三) 三本木原・上ヶ溝原・大芝原の争論……………	五〇一	(三) 森林の保護育成……………	五三
(四) 大泉所たる一件争論……………	五〇二	(四) 村有林生産物の販売……………	五三
第三節 近代における入会地の変化……………	五〇三	二 部落有林野の村有への統一……………	五三
一 地租改正と入会地……………	五〇三	第六節 入会山の分割と村有統一化……………	五九
(一) 筑摩県下における入会山野の地租改正……………	五〇三	一 入会山の分割……………	五九
(二) 長野県下における再調査……………	五〇五	(一) 大正五年の分割協定覚え書の成立……………	五九
二 明治以後の入会地の利用と保護……………	五〇七	(二) 大泉所山の分割……………	五〇一
(一) 入会地の利用……………	五〇七	(三) 北沢山および南沢山の分割……………	五三
(二) 入会地の保護……………	五〇七	(四) 藏鹿山の分割と入会権の整理……………	五三
		(五) 御射山の分割……………	五三
		(六) 藏鹿山の内矢ノ南入りの分割……………	五三

二 分割後の運営と村有統一化	五六	(四) 『天狗勢の本州縦断』	五九
(一) 大泉所山・北沢山の村有統一化	五五	三 おかげ参り	五〇
(二) 蔵鹿山・御射山・矢ノ南入りの管理運営	五七	四 維新と村人の動き	五二
第七節 昭和の森林育成とその経営	五九	第二節 南箕輪村の誕生	五五
一 大泉所山の植林	五九	一 誕生とその経過	五五
二 北沢山の植林	五二	二 飛 地	五一
三 平地林の経営	五三	第三節 地租改正と村人の生活	五三
四 蔵鹿山・御射山等の植林	五五	一 明治初期の税制	五三
五 村有林の利用と村財政	五七	二 地租改正	五三
(一) 下枝・落葉等の利用	五七	(一) 地租改正の意義	五三
(二) 立木の伐採売却と村財政	五七	(二) 田・畑・宅地の地租改正	五四
六 林道の開設	五八	三 山林原野の地租改正	五八
第八節 昭和における平地林の開墾・開発	五〇	四 地租改正による「改め出し」と増税	五九
一 西天竜完成による開墾	五〇	五 地租軽減運動と地価修正	六一
二 戦時体制下の開墾	五〇	六 地租改正とその後 of 農民	六一
三 戦後の入植開拓と部落有財産の処分	五一	第四節 村の行財政・金融	五三
第六章 村の発展	五三	一 村の行政	五三
第一節 明治維新と村人の動き	五三	(一) 明治前期の村政	五三
一 平田学と神葬復礼	五三	1 尾州藩取締所管下へ	五三
二 水戸浪士北殿宿通過	五四	2 伊那県管下へ	五五
(一) 今様奇談	五四	3 筑摩県管下へ	五七
(二) 高遠様一発もなし	五五	4 長野県管下へ	五九
(三) 北殿宿通過	五五	(二) 明治後期の村政	五五
(四) 浪士追い打ちの通行	五七	1 町村体制の形成	五五
		2 郡制(発足・廃止)と村政	五七
		(三) 大正期の村政	五八

1	陋習の打破……………	六八
2	区制の発足と推移……………	六九
3	米騒動と関東大震災……………	七二
4	教育条件の整備……………	七三
5	その他の村政……………	七三
(四)	昭和前期の村政……………	七三
1	昭和恐慌と村政……………	七三
2	役場庁舎の改築……………	七七
3	村有林施業基案……………	七八
4	村政運営の発展……………	七九
5	教育用地の寄附……………	八〇
6	戦時体制下の村政……………	八三
二	村の財政……………	八五
(一)	市町村制以前の村の財政……………	八五
(二)	市町村制実施から大正時代の村財政……………	八九
(三)	昭和経済恐慌・戦時体制下の村財政……………	九一
(四)	太平洋戦争後の村財政……………	九三
三	金融の発展……………	九八
(一)	従来からの方式による金融……………	九八
1	土地売買による金融……………	九八
2	無 尽……………	九九
(二)	新しい制度による農村金融……………	九九
1	開 産 社……………	九九
2	銀行の創立と農工銀行……………	一〇〇
3	郵便局と庶民金融……………	一〇三
(三)	産業組合―農業会……………	一〇三
(四)	戦後の農村金融……………	一〇五
1	戦後の金融の混乱と公益質屋……………	一〇五
2	農業協同組合……………	一〇六
3	特殊銀行の設立と制度金融の発展……………	一〇八
四	産業組合・農業会……………	一〇八
(一)	南箕輪村の産業組合……………	一〇八
1	産業組合の設立……………	一〇八
2	経営困難な草創期……………	一〇九
3	産業組合再建の努力……………	一一二
(二)	南箕輪村農業会……………	一一三
第五節	生産の発展……………	一一四
一	新時代への産業の模索……………	一一四
(一)	明治初年の産業の概況……………	一一四
(二)	新時代への産業の模索……………	一一五
1	開産社の融資からみた産業開発……………	一一五
2	水 産 業……………	一一五
3	鉱産物試掘……………	一一七
4	農 談 会……………	一一七
5	牧牛の企て……………	一一八
二	農業の歴史と技術の発展……………	一一八
(一)	明治時代の農業の進歩……………	一一八
1	新作物 家畜の導入と改良……………	一一八
2	稲作技術の発展……………	一二〇
(二)	大正より昭和前期の農業……………	一二二
1	金肥施用量の増加と緑肥栽培の奨励……………	一二二
2	病虫害防除技術の進歩……………	一二三
3	農具の進歩……………	一二四
4	農業会の活動と農業の進歩……………	一二五

5	昭和の経済恐慌と農村	六六八
6	稲作技術の発展	六七〇
(三)	戦時体制下の農業	六七〇
1	戦時統制と食糧増産	六七〇
2	諸物資の不足と農民の協力	六七〇
3	労力の不足と共同作業	六七二
三	養蚕業の発展と衰退	六七二
(一)	明治時代の養蚕	六七二
1	養蚕発展の概要	六七二
2	桑の栽培	六七三
3	飼育法	六七四
(二)	大正時代・養蚕の最盛期	六七六
1	概 況	六七六
2	桑の肥培管理	六七七
3	養蚕法の進歩	六七八
(三)	昭和前期の養蚕の衰退	六七九
1	概 況	六七九
2	栽桑と飼育技術の発達	七八〇
(四)	昭和後期(戦後)の養蚕	七八一
1	概 況	七八一
2	栽桑と飼育技術の進歩	七八二
(五)	蚕種製造業	七八四
四	西天竜の開田	七八五
(一)	西天竜水路	七八五
1	概 要	七八五
2	西天竜用水開発まで	七八六
3	西天竜用水路の開発	七八六
(二)	南箕輪における西天竜の開発	七八八
1	開田の経過	七八八
2	開田工事の方法と苦勞	七九〇
3	西天竜開発による土地利用状況の変化	七九三
4	大泉耕地整理	七九三
5	開田当時の農家経済	七九五
6	工事費の償還	七九六
(三)	西天竜農業倉庫	七九七
(四)	ま と め	七九八
五	畜産および園芸の導入	七九八
(一)	畜産の導入	七九八
1	明治・大正期	七九八
2	昭和の経済恐慌以後	七九九
(二)	園芸の導入	七九〇
1	明治・大正期	七九〇
2	昭和前期の園芸の発展	七九二
六	商工業の発展	七九三
(一)	商 業	七九三
1	明治初年の商業	七九三
2	明治中期の商業	七九四
3	明治後期から大正・昭和初期の商業	七九四
4	戦時統制下の商業	七九六
(二)	工 業	七九六
1	職 人	七九六
2	手 工 業	七九七
3	製 糸 業	七九〇
第六節	戦争と南箕輪	七九五

一 戦争と南箕輪	七五
(一) 西南戦争	七五
(二) 徴兵制度	七五
(三) 日清・日露戦争	七五
1 日清戦争	七五
2 日露戦争	七六
(四) 戦時体制と太平洋戦争	七七
1 太平洋戦争の始まるまで	七七
2 太平洋戦争と敗戦	七八
(五) 慰霊碑・戦没者名	七〇
二 満州開拓団と満蒙開拓青少年義勇隊	七三
(一) 満州移民の概要	七三
(二) 満州移民の気運	七五
(三) 本村からの開拓移民	七五
1 水曲柳開拓団	七五
2 中和鎮信濃村開拓団	七六
3 富貴原郷への入植	七六
4 開拓の終末	七八
(四) 満蒙開拓青少年義勇隊	七九
1 概 要	七九
2 本村関係義勇隊開拓団	八〇
3 物故者慰霊像の建立	八〇
第七節 交通の発達	八二
一 道路事情の変遷	八二
(一) 伊那街道の発展	八二
(二) その他の道路	八二
1 春日街道	八二
2 権兵衛街道	八三
3 その他	八三
(三) 近代的交通路	八三
1 中央自動車道	八三
2 大規模農道の開通	八三
3 その他	八三
二 運輸事情の変遷	八三
(一) 中馬から運送馬車へ	八三
1 伝馬所から陸運会社、内国通運会社へ	八四
2 中牛馬会社	八四
3 両会社の対立と合併	八四
4 運送馬車へ	八四
(二) 人力車・乗合馬車・自転車	八四
1 人力車・乗合馬車・自転車	八四
2 大正時代の交通	八四
(三) 伊那電気鉄道から飯田線へ	八四
1 伊那電車の開通	八四
2 伊那電と運輸	八四
3 飯田線へ	八四
(四) 自動車交通の発達	八四
1 パ ス	八四
2 トラックによる貨物輸送	八四
3 自動車類の著しい増加	八四
三 天竜川通船・渡し舟・橋	八五
(一) 天竜川通船	八五
(二) 渡し舟	八五
(三) 橋	八五

第八節 生活の近代化

一 消防・駐在所

(一) 消防

- 1 明治以前の村の消防…………… 六二
- 2 各村消防組の誕生…………… 六三
- 3 消防組織の発展…………… 六三
- 4 大正期における消防組…………… 六四
- 5 警防団の設置…………… 六四
- 6 自治体消防団の発足…………… 六四

(二) 南箕輪村日赤奉仕団

(三) 駐在所

- 1 駐在所の誕生…………… 六七
- 2 新警察制度の発足…………… 六七
- 3 犯罪を防止し平和な村に…………… 六八

二 保健衛生

(一) 村の保健衛生

- 1 伝染病予防対策と治療…………… 七〇
- 2 清潔法の実施…………… 七六
- 3 乳幼児検診…………… 七九
- 4 国民体力検査…………… 七九
- 5 伝染病隔離病舎…………… 七八
- 6 村診療所…………… 七〇

三 郵便・電信・電話・有線

(一) 郵便

- 1 明治初期の郵便…………… 六一
- 2 南箕輪郵便局の沿革…………… 六三
- 3 南箕輪郵便局の現況…………… 六三

(二) 電信・電話

- 1 電信…………… 六四
- 2 電話…………… 六六
- 3 有線電話…………… 六七

四 報 道

(一) 南箕輪村勢要覧と村報「南みのわ」

- 1 村勢要覧…………… 六九
- 2 村報「南みのわ」…………… 六九

(二) 新 聞

- 1 南箕輪の新聞…………… 七〇
- 2 一般紙の購読…………… 七〇

(三) ラジオ・テレビ

- 1 ラジ オ…………… 七一
- 2 テレ ビ…………… 七一

第九節 文化と教育

一 学 芸

(一) 短 歌

- 1 明治以後和歌・短歌の流れ…………… 七三
- 2 国学者並びに平田門系の和歌…………… 七四
- 3 潮音系の短歌…………… 七六
- 4 アララギ・ヒムロ・流域系その他の短歌…………… 七八

(二) 俳諧から俳句へ

(三) 川柳文芸

(四) 童話・その他

- 1 童 話…………… 八五
- 2 数 学…………… 八六
- 3 漢 詩…………… 八六

二 教育の発展

(一) 就学前教育……………	八〇七	(四) 大正から昭和初期の村の教育……………	八三三
1 保育所の教育……………	八〇七	1 校庭拡張……………	八三三
2 小学校との連絡……………	八〇九	2 子守児童……………	八三三
3 小学校の就学前教育……………	八〇九	3 南箕輪事件……………	八三三
三 学校教育の発展……………	八一〇	4 校舎増築・体操場新築……………	八三三
(一) 明治初期の村の教育……………	八一〇	(五) 昭和初期から戦時下の村の教育……………	八三三
1 郷学校の創立……………	八二〇	1 二・四事件……………	八三三
2 「学制」時代の教育……………	八二三	2 色刷り教科書の使用……………	八三四
(二) 明治中期の村の教育……………	八二四	3 戦時期の学校……………	八三四
1 南箕輪学校の誕生……………	八二四	4 南箕輪青年訓練所設置……………	八三五
2 「教育令」の実施による村の教育……………	八二五	5 南箕輪青年学校設置……………	八三五
(三) 明治後期―明治二〇年以後の村の教育……………	八二六	6 疎開児童の受け入れ……………	八三六
1 「小学校令」の施行……………	八二六	7 国民学校生徒の戦争協力……………	八三六
2 「学年制」の開始と教育の実際……………	八二六	(六) 新学制による村の学校の歩み……………	八三六
3 小学校令による教育課程……………	八二六	1 敗戦による教育の急転回……………	八三七
4 小学校制度の整備と教育目的の明確化……………	八二六	2 新しい教育への模索……………	八三七
5 支校、派出所の統合、南箕輪尋常小学校……………	八二七	3 新学制の実施・中学校の誕生……………	八三七
6 学校火災と建築……………	八二七	4 教育委員会の発足……………	八三六
7 学校林の設置……………	八二八	5 週五日制の実施……………	八三六
8 補習科設置……………	八二八	6 新しい教育計画……………	八三六
9 南箕輪尋常高等小学校……………	八二八	7 校歌の制定……………	八三六
10 実業補習学校設置……………	八二九	8 新しい教科書の採択……………	八三六
11 御真影の奉戴・奉安殿……………	八三〇	9 委託児童の契約……………	八三六
12 義務教育の延長と教科目……………	八三〇	10 学校給食……………	八三〇
13 学齢児童保護会の発足……………	八三二	11 PTAの活動……………	八三一
14 校舎増築……………	八三二	(七) 南箕輪中学校の歩み……………	八三一
15 特別学級の設置……………	八三二	(八) 村内にある県立と国立学校……………	八三三

1	伊那技術専門校	八三
2	上伊那農業高等学校	八三
3	信州大学農学部	八三
四	社会教育	八四
(一)	概説	八四
(二)	社会教育諸団体	八五
1	概説	八五
2	青少年団体	八五
3	婦人団体	八七
4	老人団体	八九
5	青少年健全育成協議会	八九
6	社会体育団体	八九
(三)	社会教育施設	八四
1	文化的施設	八四
2	スポーツ施設	八六
第七章	新しい南箕輪	八四
第一節	人口と職業	八四
一	戸口の推移	八四
(一)	人口の推移	八四
1	明治初年より大正五年ごろに至る人口増加期	八四
2	大正五年ごろより昭和一九年に至る人口漸減期	八四
3	昭和二〇年より同二五年に至る人口変動期	八四
4	昭和二六年から同三五年までの人口漸減期	八四
5	昭和三六年以降の人口急増期	八七
(二)	戸数・世帯数の増加	八四
(三)	部落別世帯数・人口の推移	八五
二	人口動態	八五
(一)	自然的増減	八五
1	出生率	八五
2	死亡率	八五
3	自然的増減率	八五
(二)	社会的増減	八五
1	転出	八五
2	転入	八五
3	社会的増減	八五
三	人口構成	八五
(一)	年齢別人口構成	八五
(二)	年少・生産年齢・老齢の人口構成	八五
四	村人の職業	八五
(一)	産業別人口構成	八五
(二)	就業上の地位別人口	八五
(三)	農業従事者について	八五
第二節	戦後の村政	八五
一	戦争後遺症の克服と村政	八五
(一)	飢餓からの脱出のための村政	八五
(二)	衣・住・職業等の回復のために	八六
1	衣・住の回復	八六
2	村営製紙工場の設置計画	八六
3	授産所の設置	八六
二	農村および村政の民主化	八六
(一)	農地改革	八六
(二)	村政の民主化	八六

- 1 南箕輪村協議会……………八三三
- 2 地方自治体の成立……………八三三
- 3 村議会活動の発展……………八三四
- 三 昭和二〇～三〇年代の諸施策……………八三六
 - (一) 新しい社会に適應する施策……………八三六
 - 1 中学校校舎の建築……………八三六
 - 2 公民館の設置……………八三六
 - 3 有線放送の設置……………八三六
 - (二) 福祉向上のための施策……………八三六
 - 1 国民健康保険事業の村営化……………八三六
 - 2 養老院の建設……………八三七
 - (三) 産業発展のための施策……………八三七
 - 1 土地改良事業の推進……………八三七
 - 2 工場誘致……………八三六
- 四 昭和四〇年代を主とした村政……………八三六
 - (一) 中央自動車道と村政……………八三六
 - 1 ルート発表まで……………八三六
 - 2 設計協議……………八三六
 - 3 西部開発事業……………八三六
 - (二) 農業振興地域整備計画……………八三六
 - 1 概 要……………八三六
 - 2 農用地利用計画……………八三七〇
 - 3 農業生産基盤の整備・開発計画……………八三七一
 - (三) 都市計画……………八三七
 - 1 用途地域……………八七三
 - 2 都市計画道路……………八七三
 - 3 都市計画公園について……………八七五
- (四) 地籍調査……………八七五
 - 1 大芝開発調査委員会……………八七五
 - 2 ゴルフ場開発問題とスポーツ公園の発足……………八七五
 - 3 ゴルフ場賃貸借契約の成立……………八七七
 - 4 大芝スポーツ公園の充実発展……………八七九
- 五 行政機構等の発展……………八七九
 - (一) 村内行政機構の推移……………八七九
 - (二) 町村合併の波……………八八〇
 - (三) 百周年を迎えた村政……………八八二
 - (四) 役場庁舎の新築……………八八二
 - (五) 広域行政組合……………八八三
 - 1 伊那中央し尿処理組合……………八八三
 - 2 上伊那地域広域行政事務組合……………八八四
 - 3 大泉所山砂防ダム……………八八四
 - 4 行政事務の近代化(電算)……………八八五
- 第三節 農業経営の变革……………八八六
 - 一 農地改革……………八八六
 - (一) 農地改革の経緯……………八八六
 - 1 太平洋戦争戦時下の農業政策……………八八六
 - 2 戦後の農地改革……………八八六
 - (二) 南箕輪における農地改革……………八八七
 - 1 農地の買取……………八八七
 - 2 農地の売渡し……………八八七
 - (三) 南箕輪村の農地改革の結果とその省察……………八八五
 - 1 農家および農地事情……………八八五
 - 2 農地等の買取および売渡し状況……………八八六

3 農地改革の省察……………	八六
二 入植による開拓……………	九〇〇
(一) 戦後における入植開拓の概要……………	九〇〇
(二) 南原における入植開拓……………	九〇一
1 入植者と開拓に至るまで……………	九〇一
2 其の後の開拓の進捗……………	九〇四
3 開拓者の苦勞……………	九〇五
(三) 大芝原における入植開拓……………	九二
1 大芝原開拓の概要……………	九二
2 大芝原開拓と青年運動……………	九四
3 戦後の開拓と農民大会……………	九五
4 大芝原開拓と水……………	九六
(四) 北原における開拓……………	九八
三 農業経営の近代化……………	九九
(一) 戦後の食糧増産時代……………	九九
(二) 農地改革後の農業……………	九〇〇
1 保温折衷苗代の普及……………	九〇〇
2 品種改良と優良種子の普及……………	九〇〇
3 農業の進歩……………	九〇二
4 施肥法の改善……………	九〇三
(三) 新農村建設の動き……………	九三
(四) 農業の機械化と労働生産性向上……………	九三
四 農家の階層分化と兼業農家の増加……………	九七
(一) 農業経営の階層分化……………	九七
(二) 兼業農家の増加……………	九八
五 農業基本法と農業構造改善……………	九〇
(一) 新しい農業への課題と農業基本法……………	九〇
(二) 南箕輪における第一次構造改善事業……………	九三
(三) 如作総合改善パイロット地区設置事業……………	九三
(四) 第二次構造改善事業……………	九三
1 北部地区構造改善事業……………	九三
2 南部地区構造改善事業……………	九四
(五) 西部農業開発事業……………	九五
(六) その他の農業振興事業……………	九六
(六) 畜産および園芸の発展……………	九七
(一) 畜産の発展……………	九七
1 戦後の畜産の発展……………	九七
2 畜産経営の多頭化・專業化……………	九八
(二) 園芸の発展……………	九八
1 戦後の果樹園芸の発展……………	九八
2 戦後の野菜園芸の発展……………	九九
3 選択的拡大、米の作付制限と園芸農業……………	九九
4 花卉園芸の発展……………	九九
七 米の作付制限と総合農政への対応……………	九九
八 農業協同組合……………	九九
(一) 南箕輪農業協同組合……………	九九
1 農業協同組合の設立と発展……………	九九
2 農業近代化適応事業……………	九九
3 業績の推移……………	九九
(二) 伊那農業協同組合……………	九九
1 上伊那中部八農協の合併……………	九九
2 伊那農協の発展……………	九九
第四節 商工業の発展……………	九九
一 田園工業都市への歩み……………	九九

(一) 第一次産業から第二・第三次産業へ……………	九六	1 学級・講座等……………	九七
(二) 製造業の発展……………	九六	2 生活改善運動……………	九八〇
(三) 建設業等の推移……………	九三	3 成人式……………	九八一
四 工業振興策……………	九三	4 文化祭……………	九八一
1 工場誘致条例の制定……………	九三	5 各種スポーツ大会……………	九八三
2 都市計画の策定による工業振興策……………	九四	6 各区公民館(分館)活動……………	九八三
3 企業振興条例制定……………	九四	二 厚生福祉・衛生……………	九八三
(五) 村内工業名鑑……………	九五	(一) 保育所……………	九八三
(六) 村内の大工場……………	九七	1 保育所開設の要望……………	九八三
1 大明化学工業株式会社……………	九七	2 保育所の設置……………	九八三
2 興亜電工株式会社中央工場……………	九六	(二) 厚生福祉行政の発展……………	九八五
3 株式会社フォルテ……………	九六	1 社会福祉協議会……………	九八七
4 信英通信工業株式会社西駒工場……………	九六	2 民生委員協議会……………	九八八
5 信英畜電器箔株式会社……………	九六	3 国民年金……………	九八八
二 戦後商業の発展……………	九七	(三) 厚生福祉施設……………	九八八
(一) 商業発展の概要……………	九七	1 老人集会施設(赤松荘)……………	九八八
(二) 村内商業名鑑……………	九七	2 南箕輪老人ホーム……………	九八九
三 商工会……………	九五	3 大芝スポーツ公園……………	九八九
第五節 新しい生活……………	九五	4 村民体育館……………	九九三
一 公民館活動……………	九五	(四) 保健衛生の進歩……………	九九三
(一) 公民館の誕生……………	九五	1 戦後の保健衛生行政……………	九九三
(二) 各区公民館(分館)の建設……………	九七	2 保健センター……………	九九三
(三) 南箕輪公民館の建設……………	九六	3 多様化する保健衛生業務……………	九九五
(四) 公民館活動の場としての各種施設……………	九六	4 国民健康保険……………	一〇〇〇
1 南箕輪郷土館の建設……………	九六	5 福祉医療……………	一〇〇一
2 各種体育施設……………	九六	6 健康づくり推進協議会……………	一〇〇一
(五) 主な公民館活動……………	九七	7 食生活の改善推進協議会……………	一〇〇三

8	南箕輪村健康増進推進員	1001
第六節	南箕輪村の課題と展望	1003
(一)	南箕輪総合計画書	1003
1	昭和五〇年代村の地域的課題と評価	1003
2	昭和五〇年代村の分野別課題と評価	1003
(二)	昭和六〇年代の村の課題	1004

卷末付表

一、	歴代役職者一覧表	1007
二、	南箕輪村誌歴史編年表	1011
	主なる資料提供者	1051
	南箕輪村誌刊行委員（昭和六〇年度）	1051
	下巻執筆者	1051
	あとがき	1055